

大蔵第二運動場休憩所の整備について

(付議の要旨) 大蔵第二運動場休憩所の整備の方向性を取りまとめたので報告する。

1 主旨

大蔵第二運動場テニスコート脇に設置されている休憩スペースやトイレ等の施設について、近年の酷暑による気温上昇や突然の雷雨など気象変化の状況を踏まえ、スポーツ施設や公園利用者の安全性の向上を目的とした休憩所施設として再整備する。

2 整備方針の概要

(1) 基本的な考え方

大蔵運動公園・大蔵第二運動公園の利用者が、スポーツ等の後に休憩や歓談を行う場所とする。(夏季の熱中症対策等のための休み処)

東京2020大会時にアメリカ選手団のキャンプが実施される際、選手およびスタッフの休憩・リラックス施設としても活用する。

東京2020大会後は、休憩所機能に加え、施設の一部にアメリカ選手団のキャンプや馬術競技の記念展示等を行い、区民がいつでも見学可能なレガシーとなる施設とする。なお記念展示等の機能は、将来の大蔵運動場・大蔵第二運動場一体化再整備後も、レガシーとして新たな施設に引き継ぐものとする。

(2) 施設の概要

敷地概要

所在地：世田谷区大蔵4-7-1

敷地面積：39,147㎡

用途地域：第一種中高層住居専用地域

建物概要

構造：軽量鉄骨造(プレハブ造)

階数：2階建て

延床面積：約288㎡(建築面積：約144㎡)

主な諸室：休憩スペース(多目的スペース)、記念展示コーナー
倉庫、トイレ、誰でもトイレ、エレベーター

その他

運営形態：大蔵第二運動場の指定管理者である(公財)世田谷区スポーツ振興財団による管理を予定。

整備手法：将来の大蔵運動場・大蔵第二運動場一体化再整備を見据え、柔軟な再整備計画が可能となるよう、10年間を想定したリース契約とする。

3 概算経費

(1) 概算事業費(設計費、工事費)

休憩所整備工事(設計含む)
公衆トイレ、倉庫解体工事

リース賃借料に含まれる
約1千万円

(2) 施設運営費(想定)

建物リース賃借料(保守管理経費含む)

約1千5百万円/年(10年リース)
総額:約1億5千万円

4 大蔵第二運動場既存施設改修工事

休憩所整備に伴い、大蔵第二運動場既存施設の一部についても改修工事を実施する。

(1) おもな改修工事内容

- ・ゴルフ練習場打席棟階段の増設
- ・クラブハウス棟(宿泊棟)客室改修工事
- ・敷地内プレハブ倉庫等撤去工事 ほか

(2) 概算経費

- ・設計費 約1千3百万円 休憩所整備許可申請手続き等含む
- ・改修工事費 2019年度(平成31年度)設計作業を経て算出予定

(3) 休館に伴う指定管理料への影響

設計作業を経て工事内容・工期が確定するため、現時点では不明。なお工事に伴い一部休館は生じるが、長期に渡っての全館休館は無い見込みである。

5 今後のスケジュール(予定)

平成31年(2019年) 4月~

既存施設法適合改修工事設計業務委託
休憩所整備設計

11月~

既存施設法適合改修工事・休憩所整備工事

平成32年(2020年) 7月

休憩所開設(USOCキャンプ利用)

9月

区民への供用開始

【参考】施設整備予定地（大蔵第二運動場）

